

ありがたみに気付いた出来事

奈良市立富雄第三中学校二年

小谷 謙仁

昨年、僕の家キッチンの水栓が故障し、突然水が出なくなつた。前日まで普通に使えていたはずなのに、いくらレバーを押しても水が出てこない。キッチンで料理を作ろうとしていた母はどうしようとしても困つていた。家の工事の人に連絡をとつたが、あいにくお盆の時でした。しばらく時間がかかると言われ、そこから数日、キッチンの水が使えない日が続いた。

まず、水が出ないと料理の時に材料を洗えないし、お湯を沸かすにもわざわざ洗面所まで水をくみにいかないといけない。それに、一番不便なのが洗う物をする時だ。いつも食後のお皿をキッチンに持っていき水につけておくのだが、いつものくせで水をかけようとしてしまう。洗剤で洗つたお皿は、洗面所の水で流したりと、本当に大変だつた。それと同時に、普段、何気なく当たり前のように水道のレバーを押

すと水が出てくることが、なんてありがたいことだと思い知らされた。考えれば、僕たちの暮らしに水は欠かせない。キッチンや洗面所、洗たくにお風呂など、蛇口から水が出るからこそ不便なく生活ができている。しかし、地震などの災害が起ると水が止まり、たちまち生活ができなくなってしまう。キッチンの水が出ないだけでこんなに不便だったのに、家中全ての水が出ないとなると、考えただけでぞつとする。僕はこの経験から、普段から水を備蓄しておく重要さを改めて感じた。

また先日、奈良県では少雨の影響でダムの貯水量が低下し、ある地域で給水制限がされているという記事を読んだ。水不足になると、日常生活だけではなく、田んぼや畑などの米や作物も育たなくなり収穫量が減ってしまったり、工場でも使える水が減ることで生産が落ちたりするなど、様々な方面で影響がでてしまう。僕の住んでいる奈良市は制限の対象ではなかったけれど、意識して節水できることは進んで取

り組もうと思う。例えばお風呂でシャワーを使う時は必要な時だけ水を出して細めに止めたり、歯みがきの時はコップに水をくむ等は普段から気をつけるようにしている。このような身近な事でも一人一人の積み重ねが大切だと思う。

このように水は僕たちの暮らしや社会に必要不可欠なものである。そして、地球上で安定した水循環が行われることで僕たちが安全に水を飲めたり、自然の中で生き物が暮らせたりしている。今後も持続可能な社会を築いていくために、水循環についてをもっと勉強し、その上で森林の保護や地球温暖化などの環境問題についてもしつかり考えていきたいと思う。